

# 「1-1 防災教育に対する知識構造的アプローチ」

東京大学情報学環 総合防災情報研究センター  
センター長 田中 淳

# Sub-groupの全体計画

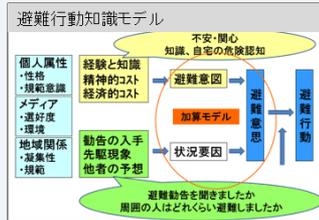
**地域類型化**; a)各種統計分析／就業構造、社会移動等  
 b)社会調査法／意識や知識構造の把握

**先進地域分析**; a)地域行政課題と知識体系の整理  
 b)防災リテラシー向上手法の予備的解明。

**地域類型毎の防災リテラシー向上手法の実践的開発**

地域類型B

地域類型A



知識構造の解明



地域類型C

	防災行政課題		
	耐震化の推進	被害想定	...
地震学	長周期地震動予測	断層モデルの解明	
地盤工学	微視的地盤構造	液化化予測手法	
建築学	耐震手法の評価	被構造部材の挙動	
...			
医学		災害医療高度化	
...			
社会学			
心理学		避難行動予測	
...			

地域行政課題マップ

地域類型D



地域研究会

**永続的実践的共同体構築手法への転換と高度化**

**地域類型化** ; a)各種統計分析／就業構造、社会移動等  
b)社会調査法／意識や知識構造の把握

a)各種統計分析／就業構造、社会移動等  
高齡化率  
社会移動率  
産業特化率？

b)知識構造

【背景】①「予知はできない」と知っているが、  
避難の契機は「避難勧告」

②「津波は繰り返し来る」という知識から  
「着るものを取りに戻った」

【前提】知識はある。

【仮説】知識が適切に構造化されていない。

地

域

研

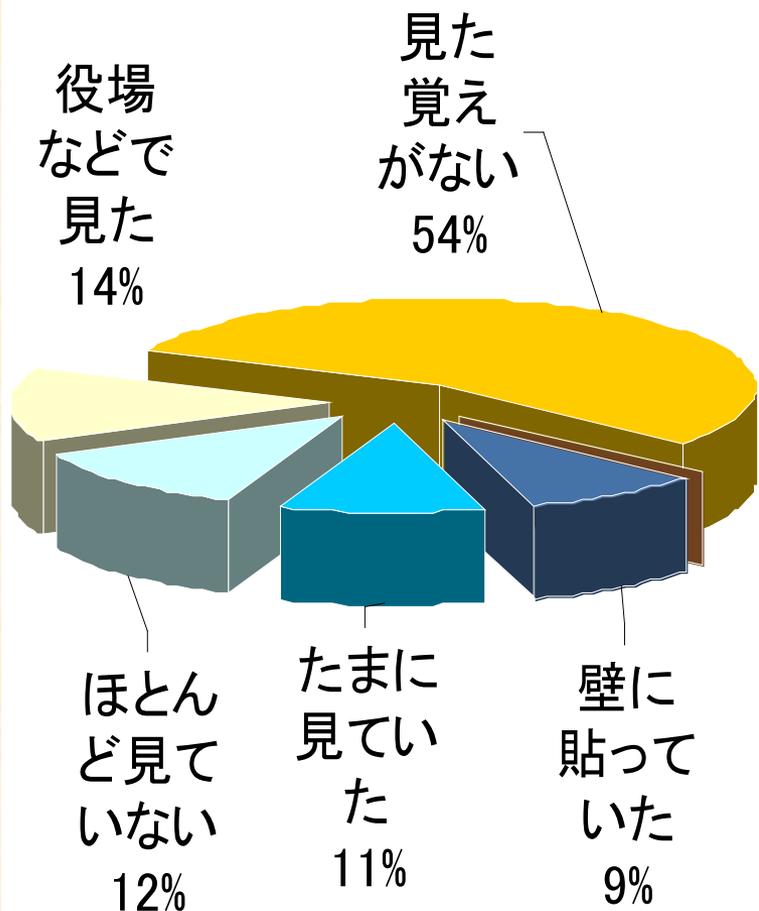
究

会

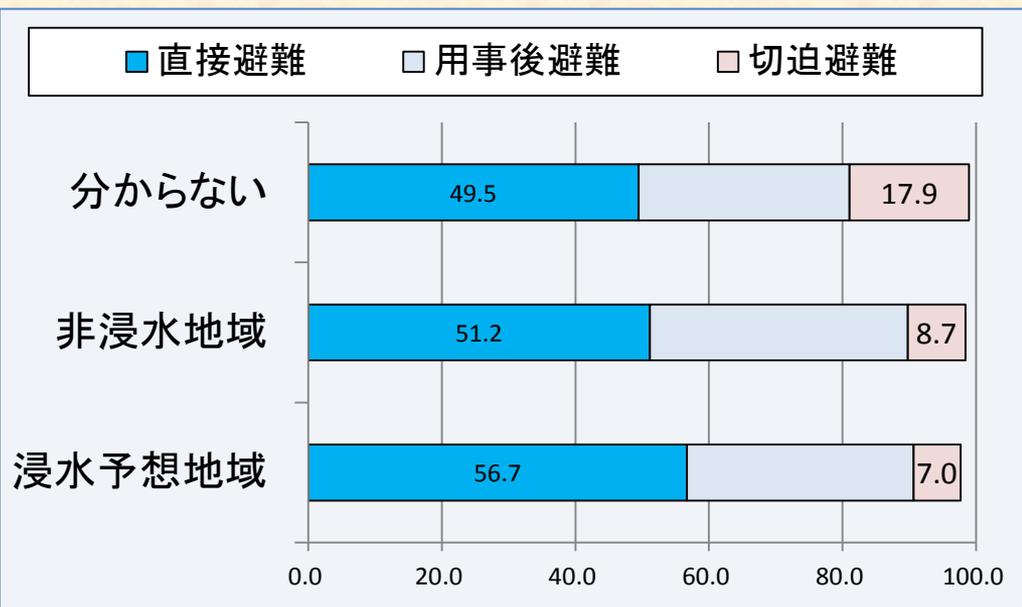
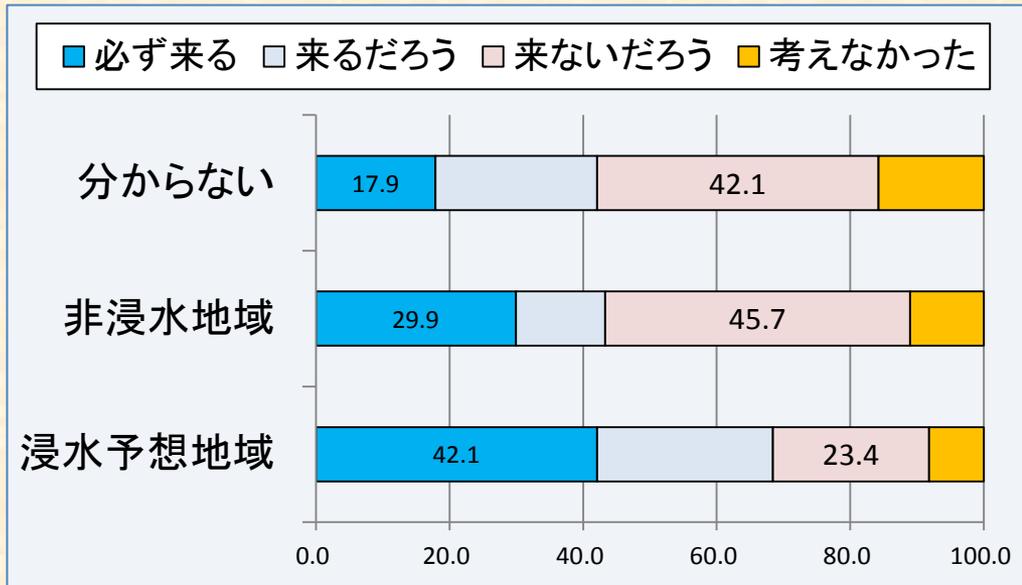
要望

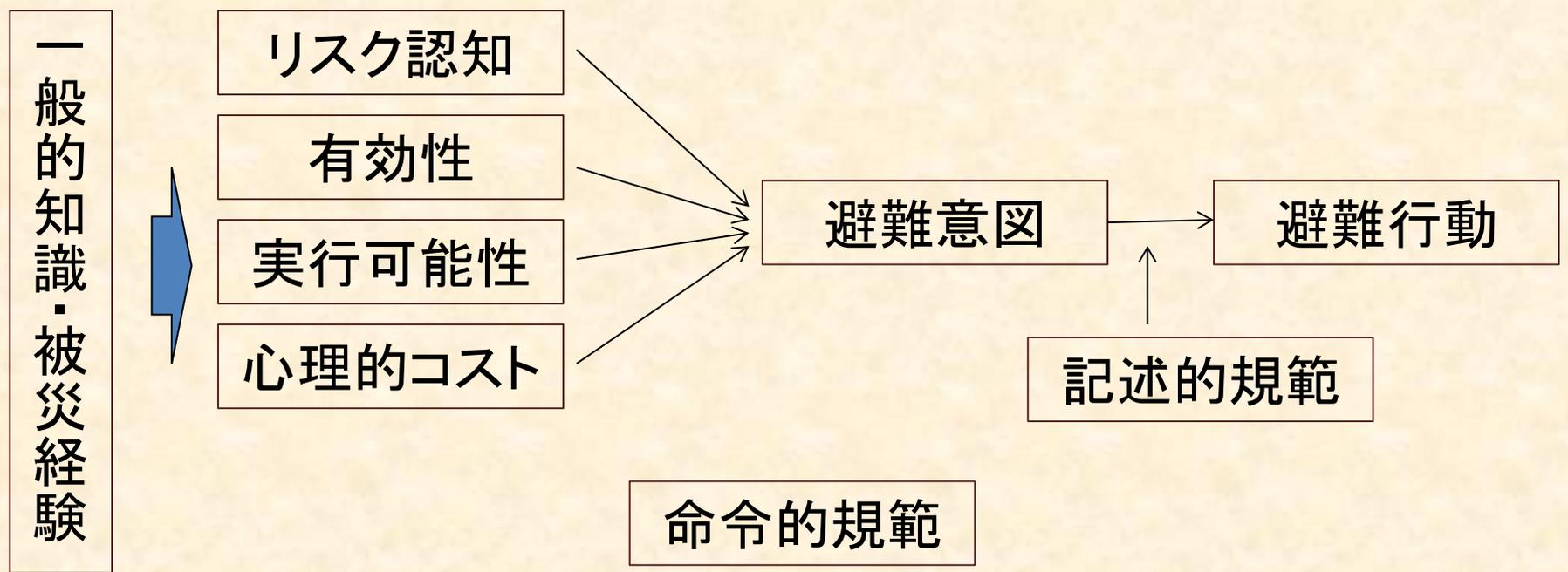
提供

# 結果1：ハザードマップの効果



(内閣府調査データに基づく)



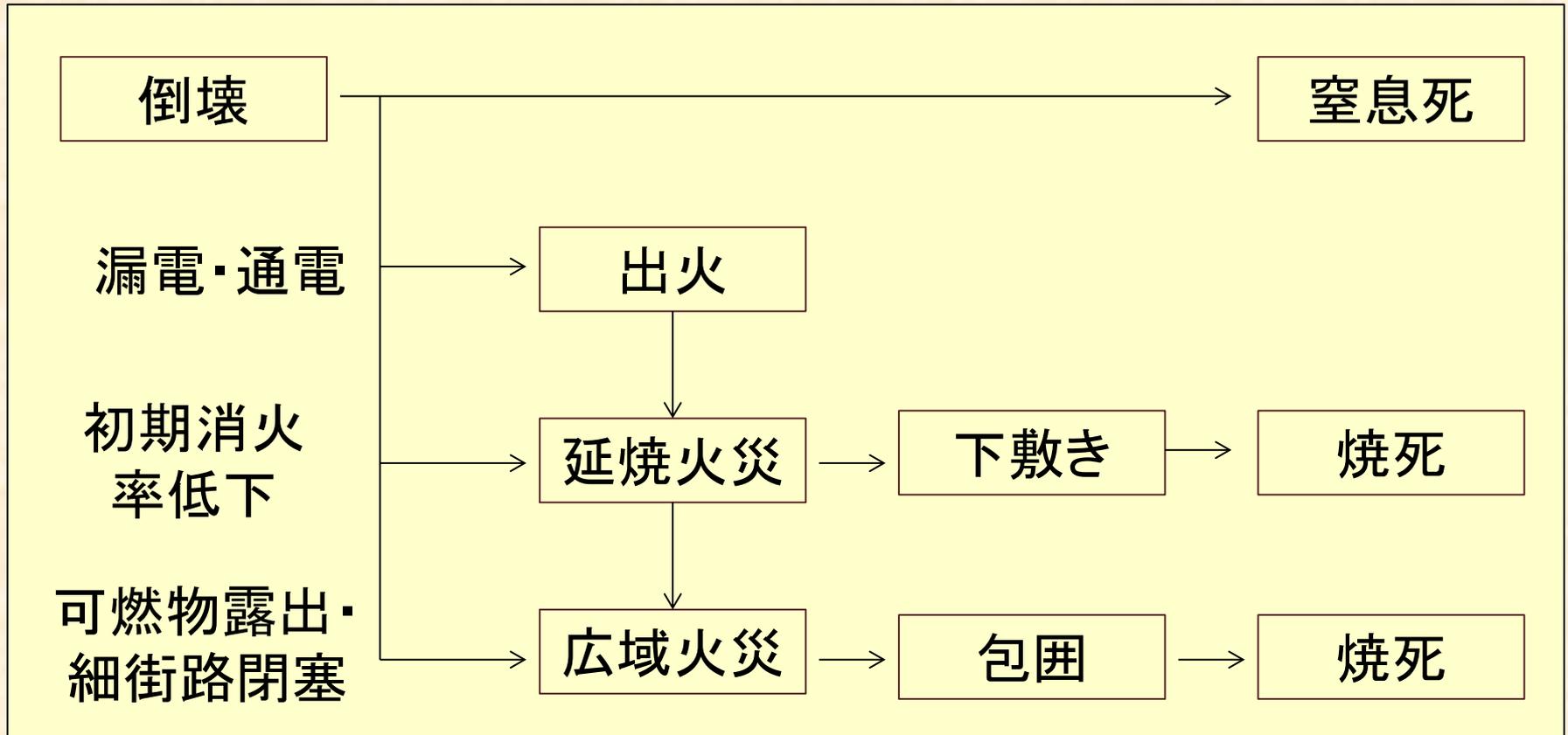


田中・関谷(2011)

- ・Theory of Planned Behavior」(Ajzen,1991)、野波ほか(1997)
- ・行動意図:コスト、規範、リスク認知、有効性、実行可能性、責任

## 素人モデルと専門家モデル

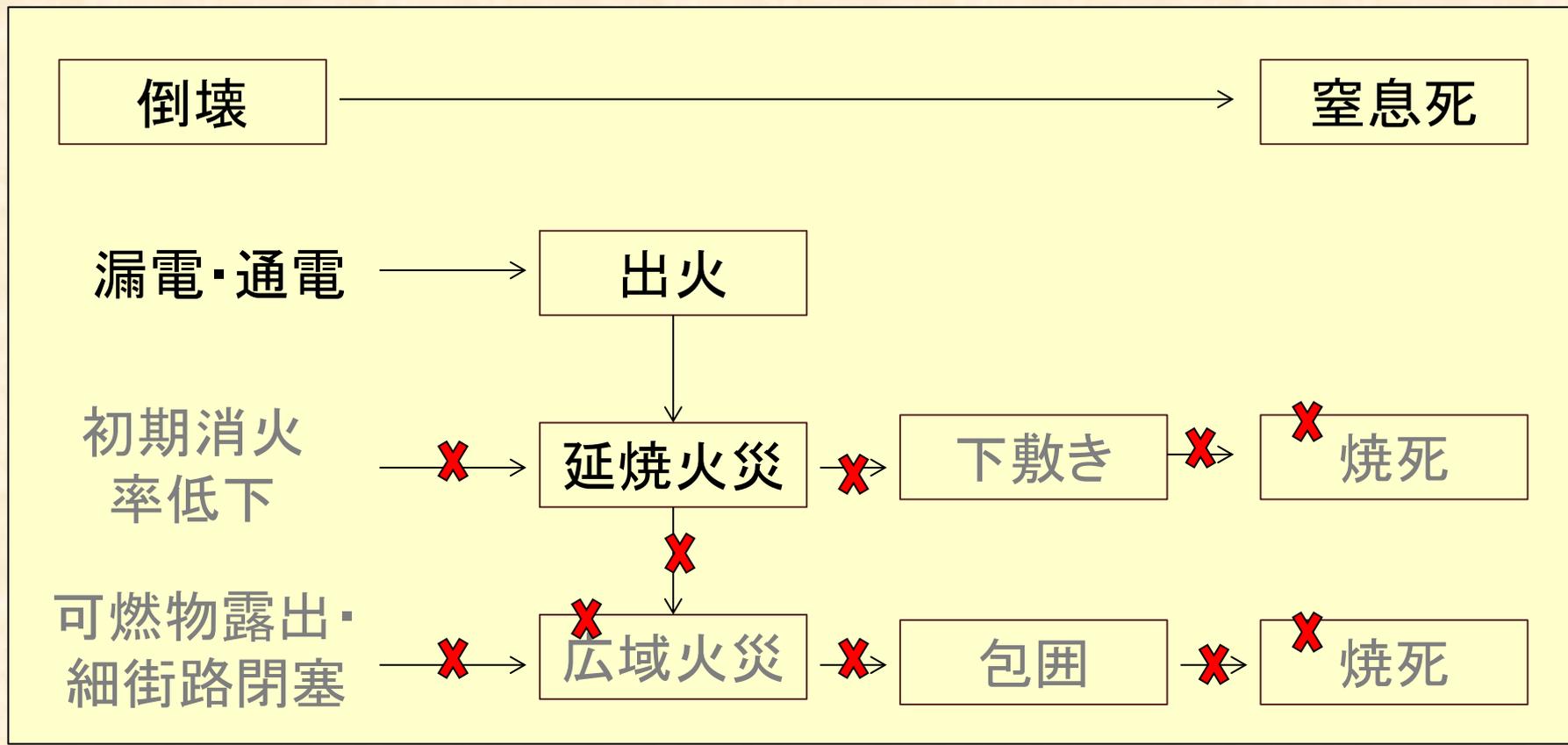
Center for  
Integrated  
Disaster  
Information  
Research



耐震補強の重要性。津波避難も同様

## 素人モデルと専門家モデル

Center for  
Integrated  
Disaster  
Information  
Research



広域火災のイメージがなく、死に結び付いていない。

## 1. 訪問面接調査；

### 1)調査対象者：

- ①北海道小樽市、②秋田県秋田市、
  - ③新潟県新潟市、④鳥取県米子市
- に居住する20歳以上の男女個人

2)標本設計：400サンプル(エリアサンプリング)

3)調査方法：訪問留置法

4)調査期間：11月中旬：実査、12月：集計

## 2. web調査；

- ・調査対象：日本海沿岸に在住の20歳以上
- ・調査数：1,000サンプル
- ・市町村毎に人口比割り付け